

<b>Course number</b>		U-LAS20 10001 SB48					
<b>Course title (and course title in English)</b>		英語リーディング ER16 1J5 English Reading		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, TANIGUCHI KAZUMI	
<b>Group</b>	Languages		<b>Field(Classification)</b>				
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>	Group C		<b>Number of credits</b>	2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025・First semester	
<b>Days and periods</b>	Mon.2		<b>Target year</b>	1st year students		<b>Eligible students</b>	For all majors
<b>[Areas of skills]</b>							
Academic Reading							
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
<p>この授業では、英語リーディング・スキルの習得と向上を目的とする。学術的文体の英文を精読・多読し、構文や文法を把握すると共に、著者の意図を適正に解釈する力を身につけ、英語による議論の構成を学習する。</p> <p>さらに、音読によるリーディングの練習も取り入れ、英語音声の特徴について詳細に学習する。</p>							
<b>[Course objectives]</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的な英語テキストを読解し、正確に理解すると共に、その内容について議論を深めることができるようになる。</li> <li>・英語の音声の特徴を理解し、リスニング・スピーキングのスキル向上に努める。</li> </ul>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
<p>この授業で扱うテキストは、社会言語学の第一人者であるDeborah Tannenによる著作である。会話スタイルや対人関係の志向性に関する男女の相違に焦点を当て、その相違が職場においてどのような問題を引き起こし得るか、豊富な具体によって示されている。場面は職場ではあるが、学生生活にも多くの点で当てはまる、身近な事例が扱われている。卓越した書き手である著者による文章は、学術書としての論理性と巧みな表現に富んでおり、大学生の英語学習には最適である。</p> <p>テキストは第1章と第2章を中心に、以下のスケジュールで読み進める。</p> <p>Chapter 1 Women and Men Talking on the Job  第1回：Introduction  第2-3回：When not asking directions is dangerous to your health  第4-5回：To ask or not to ask  第6回：Negotiating from the inside out or the outside in  第7回：When is the wage gap a communication gap  第8回：中間試験</p> <p>Chapter 2 "I'm sorry, I'm not apologizing"  第9回：Introduction  第10-12回：Saying "I'm sorry" when you're not</p>							
-----							
Continue to 英語リーディング ER16(2)							

## 英語リーディング ER16(2)

第13-14回： Taking blame and influencing people

第15回： 期末試験

履修者は、テキストの指定された箇所の解釈を事前にメール等で提出すること。その解釈について、授業で詳細に確認すると共に、内容についてディスカッションし理解を深める。各章毎に試験を実施する予定。

また、授業の冒頭30分程度を使用し、課題文（別途プリントで配布）の音読の練習を行っていく。音読により英語の音声の特徴を理解し、リスニングおよびスピーキングの基礎を身につけていきたい。

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。  
以下の割合で総合的に評価する。

- ・ 中間試験および期末試験：70%
- ・ 音読試験：20%
- ・ 平常点：10%

詳細は初回授業時のガイダンスで説明する。

### [Textbooks]

Tannen, Deborah 『Talking from 9 to 5: Women and Men at Work』 ( Shohakusha ( 松柏社 ) ) ISBN:978-4-88198-473-4

### [References, etc.]

( References, etc. )

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

- ・ 授業で扱う範囲について、英単語や文法事項をはじめとする予習は必須です。
- ・ 内容について毎時復習し、理解を深めること。
- ・ 多読の課題は各自のペースで計画的に進めること。
- ・ 音読は短時間でも継続的に自習することが望ましい。

### [Other information (office hours, etc.)]

### [Essential courses]